

「希望する高齢者2回接種を7月末までに」菅首相は言うけれど…

# 流山市は「8月中旬」…接種前倒しへ提言

日本  
共産党

「公共施設を開放した個別・集団の接種拡大」  
「歯科医師会・薬剤師会に協力求め、体制強化」を

「コールセンター設置後2か月で…  
1万3千件超の問い合わせ」

流山市のワクチン接種の遅延等、コールセンターへの問い合わせが相次いでいます。5月19日には834件にも。接種の遅延に対する不満が爆発しています。

## 党と市民要望が実る

5月20日、市議会臨時会総務委員会では、感染対策やワクチン接種加速化を図るため、財政調整基金から3億2千万円弱を取り崩す等の補正予算案等を審査。接種時のタクシー等利用助成（往復3千円の上限。対象約2千人）や高齢者施設を循環し、接種に当たる医療従事者への人件費への補助、在宅往診時の接種に対する補助等が盛り込まれ、党提案や市民要望が一部実りました。

一方、課題も。国民への接種に必要な個別接種医療機関が増えず、「当初予定よりも3万5千件超の個人接種分を、集団接種でカバーするしかない」とし、集団接種は累計78回を予定するなど市の裁量が問われています。また、医療従事者への優先接種の際、ワクチンの注射器充填作業を薬剤師が実施している実態を把握しつつも、「薬剤師の経

費は、高齢者施設巡回接種の人件費補助には含まれていない」など、接種促進を呼び掛けつつも、医療機関からの持

43か所の個人接種で  
毎週4千人…目標実現のために

ち出しに依存しています。

小田桐たかし議員の質問に、「市内65才以上の高齢者（4万8千人）に対し、接種率65%（約3万1千人）と仮定した場合、希望する高齢者の2回接種完了には、「8月中旬までかかる見通し」と答弁。しかし、前提は、高齢者への集団接種で累計6216人の接種（4施設で14回を実施し、1回当たり午前・午後、合計4時間で444人接種）と、43か所の個人接種（週4千人）の接種が必須であることがわかりました。

小田桐議員は、安全で迅速な接種実現のために、公共施設を開放した個別・集団の接種拡大、薬剤師会の協力による接種会場における医師の問診前に実施される事前問診やワクチン充填等の作業の効率化、歯科医師会の協力による接種者の増員等を提案しました。

【裏面に議案への討論を掲載】

# 令和3年度市議会臨時会における討論

## ・小田桐たかし議員・

日本共産党を代表し、  
■ 議案第38号、専決処分の承認を求めることについて（R3年度年度流山市一般会計補正予算（第1号））、

■ 議案第39号専決処分の承認を求めることについて（R3年度流山市一般会計補正予算（第2号））、  
■ 議案第40号R3年度流山市一般会計予算（第3号）  
については、新型コロナウイルス感染症への対応が主たるものであり、一括して賛成の立場から討論を行います。

新型コロナウイルス感染症が確認され1年4か月余り：子供から高齢者まで、あらゆる分野にわたり国民生活に大きく、深刻な影響を及ぼし続けている、世界的パンデミックです。

こんな時だからこそ、市民の命と健康を守り抜く政治、生活苦で苦しむ市民や事業者を支えぬく政治、専門家の意見に耳を傾け、一緒に汗を流す政治へ、大いに協働することが不可欠です。その立場から、国民的要望を受け、超党派で成立させたひとり親等への支援が迅速に取り組まれていることは評価しています。引き続き、二人親家庭への支援強化に当たると要望します。

また、3月市議会でも提案した市独自のテイクアウト支援の復活は不可欠なことであり、さらなる充実を求め、我が党は奮闘する決意を表明するものです。

次に、感染症対策では、検査や医療提供体制が継続できる予算が増額されたことは、重要です。

しかし、日本病院協会や医師会が、何度も経営の深刻な実態を国へ伝え、報道もされています。直接聞いていないから何もやらないという市長の姿勢は見直すよう要望します。重ねて、4月28日、井崎市長が会長を務める千葉県市長会が提出した『全国市長会関東支部提出要望』において、新型コロナウイルス感染症

に対する医療分野の要望は、「新型コロナウイルス感染症患者の受入れにあたって十分な医療提供体制を確保し適切に対処できるように、公立病院の運営に係る継続的な財政支援を行うこと」とし、公立病院の運営に限定してしました。これが、市長が繰り返してきた感謝と敬意の内容だとしたら、本場に猛省が不可欠であり、近隣市を含め、民間病院の大奮闘に水を差す内容だと強く指摘しておきます。

さらにワクチン接種に向けて、3月議会総務委員会提起した集団接種会場の拡大は評価できます。ただし、まだまだ十分ではありません。そこで、①市役所全体で接種促進戦略を立ち上げ、市民の命や健康、人権尊重などにかかわらない不要不急の業務を止めてでも、安全で迅速な接種を促進すること。②医師会、歯科医師会、薬剤師会、市内

病院を含めた接種促進チームを設置し、現時点では16才以上の希望する市民が安全かつ迅速にワクチン接種するため、一つ目のハードルである希望する高齢者の2回接種を7月末までに終了するため最大限の力を注ぐこと。③医療機関の自前施設における個別接種では迅速さに限りがあります。

必要なら、公共施設を開放し、医療従事者以外の人員も必要な場合、市として配置してでも、安全、迅速なワクチン接種を追求すること。④ワクチン接種のキャンセル対策として、明確な接種基準やリスト化を行うこと、ワクチン「廃棄ゼロ」を実現させること。⑤コールセンターを無償化に切り替えること、⑥東葛病院及び駅前診療所が個別接種に入っていない。1週間4千人の個人接種の実現のためには、この2か所だけで1日平均、外来患者700人余を放置することなく、できない理由をお聞きし、可能な道を探る努力を市が行うことを求めます。

そうでなければ、まん延防止どころか本市・千葉県への緊急事態宣言の再発出、変異株の拡大にとどまらず、国内でのさらなるウイルス変異、地域経済のさらなる悪化、「第5波」ともいえるべき感染拡大期を迎えかねない、強く警鐘を鳴らし、議案3本の賛成討論を終わります。

### 議会の新人事が決定

- ◆ 議長 森 亮二 議員(流政会)
- ◆ 副議長 菅野 浩考 議員(流山みらい)
- ◆ 議会運営委員会  
委員長 海老原 功一 議員(自民)  
副委員長 斉藤 真理 議員(公明)

常任委員会	委員長	副委員長	日本共産党市議の所属
総務委員会	野村 誠 議員(公明)	西尾 段 議員(流山みらい)	植田 和子 議員
教育福祉委員会	近藤 美保 議員(流政会)	岡 明彦 議員(公明)	小田桐 たかし 議員
市民経済委員会	野田 宏規 議員(流政会)	藤井 俊行 議員(流山みらい)	高橋 あきら 議員
都市建設委員会	戸部 滋 議員(公明)	楠山 栄子 議員(流山みらい)	いぬい 紳一郎 議員